

卒業研究成績評価基準（リハビリテーション学科作業療法学専攻）

1. 作業療法学専攻卒業研究の在り方（過程）

1. 卒業研究に先立ちテーマ及び希望教員等の希望調整を実施（3年次1月）
2. 調査結果をもとにグループ編成を行い、指導教員の元で研究計画及びパイロットスタディー、本調査・実験等の研究活動の実施（3年次2月より開始）
3. 4月より卒業研究全体に関わる授業の実施（ガイダンス、情報処理、中間報告・研究成果の公開法、経費等に関するオリエンテーション）（4月～10月までに約10回）
4. 中間発表会（4月）、口述発表（10月上旬）、ポスター発表（10月中旬）、論文提出（10月下旬締め切り）
5. 経費等の最終清算（11月末日まで）

2. 評定過程

上記のすべての研究活動が終了した時点で総合判定を行う。評定における点数の配分は指導教員ならびに全体の授業等を担当する科目責任者の合計点により評定する

<指導教員採点分>

30点満点：研究活動への参加状況

30点満点：研究成果の公表（口述発表・ポスター発表）への貢献度

30点満点：論文作成への貢献度

<科目責任者採点分>

10点満点：オリエンテーション及び中間発表会等への参加状況

総合成績について

1. 発表会終了及び卒業研究論文が完成し、研究活動全般に主体的に参加していた場合には成績は80点以上（A判定）を基準として判定する。
2. 研究活動過程で、次のような事項が生じた場合には成績をB（70～79点）、C（60～69）、D（59以下）とする。

ア、研究活動に2／3程度参加の場合・・・B

研究活動：情報収集、勉強会、研究計画会議、研究準備、研究実施、
データ収集・解析、考察・まとめ会議、発表準備、論文作成等とする。

参加とは、単なる日数参加ではなく、積極的、協力的参加を意味する

イ、研究活動に1／2程度参加の場合・・・C

ウ、研究活動に1／3程度参加の場合・・・D

エ、発表会へ不参加の場合・・・C

オ、卒業論文作成に不参加の場合・・・D

カ、イとエの両方に該当する場合・・・D

その他・注意：

やむを得ない理由で、発表会や論文の最終作成参加できなかった場合は、研究過程の活動状況と研究内容に対する理解等を指導教員が総合判断し評定する。